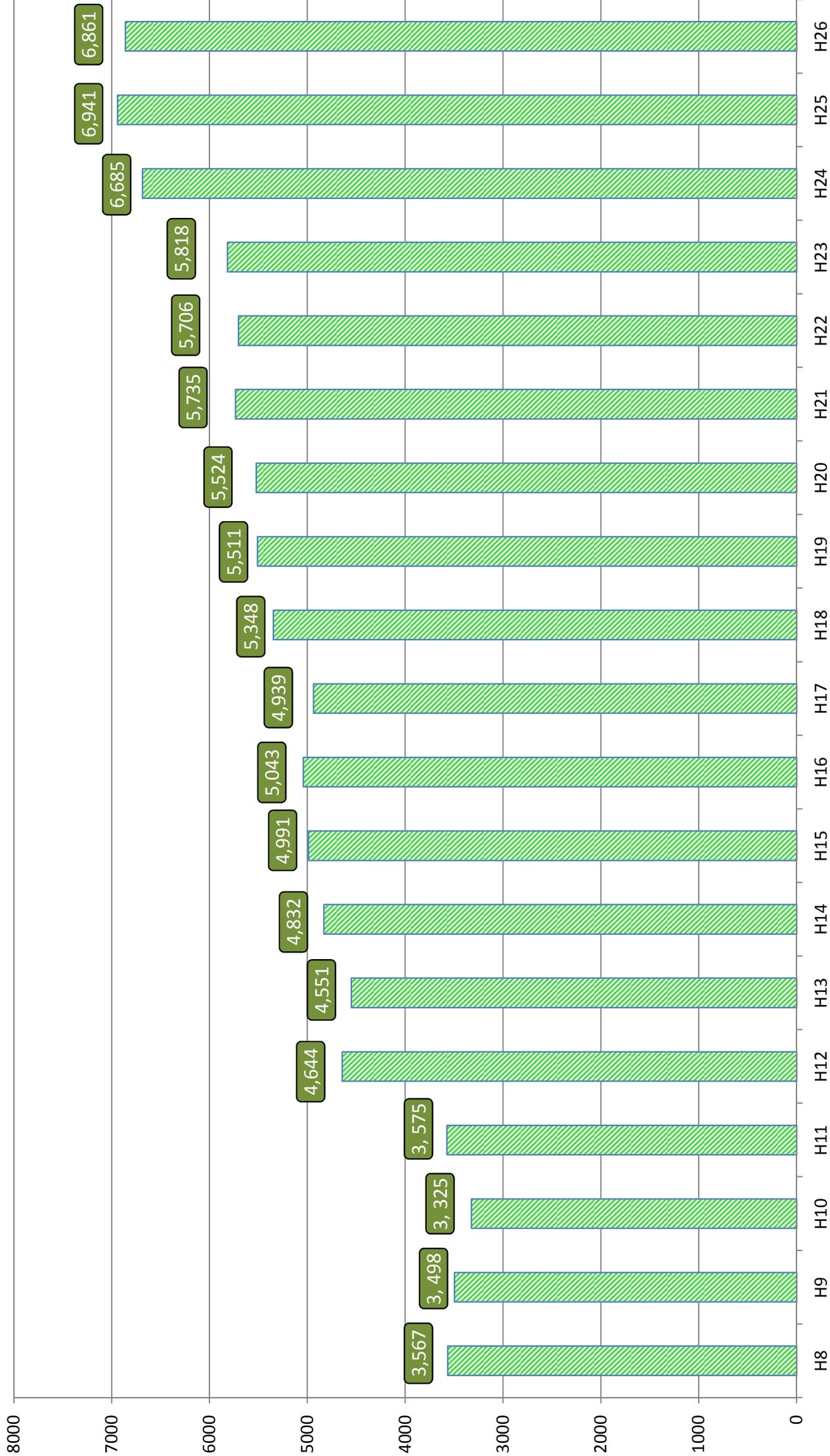


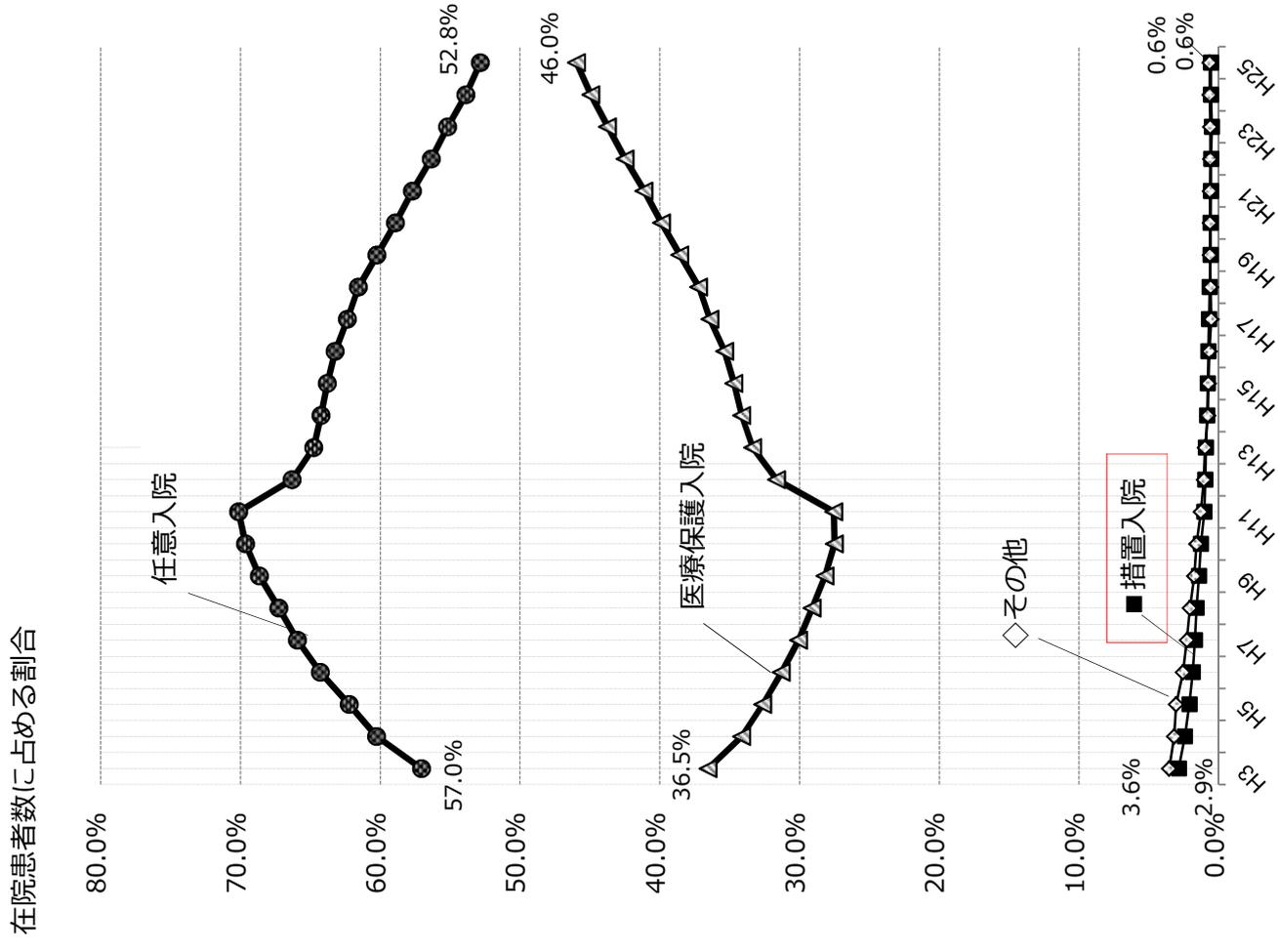
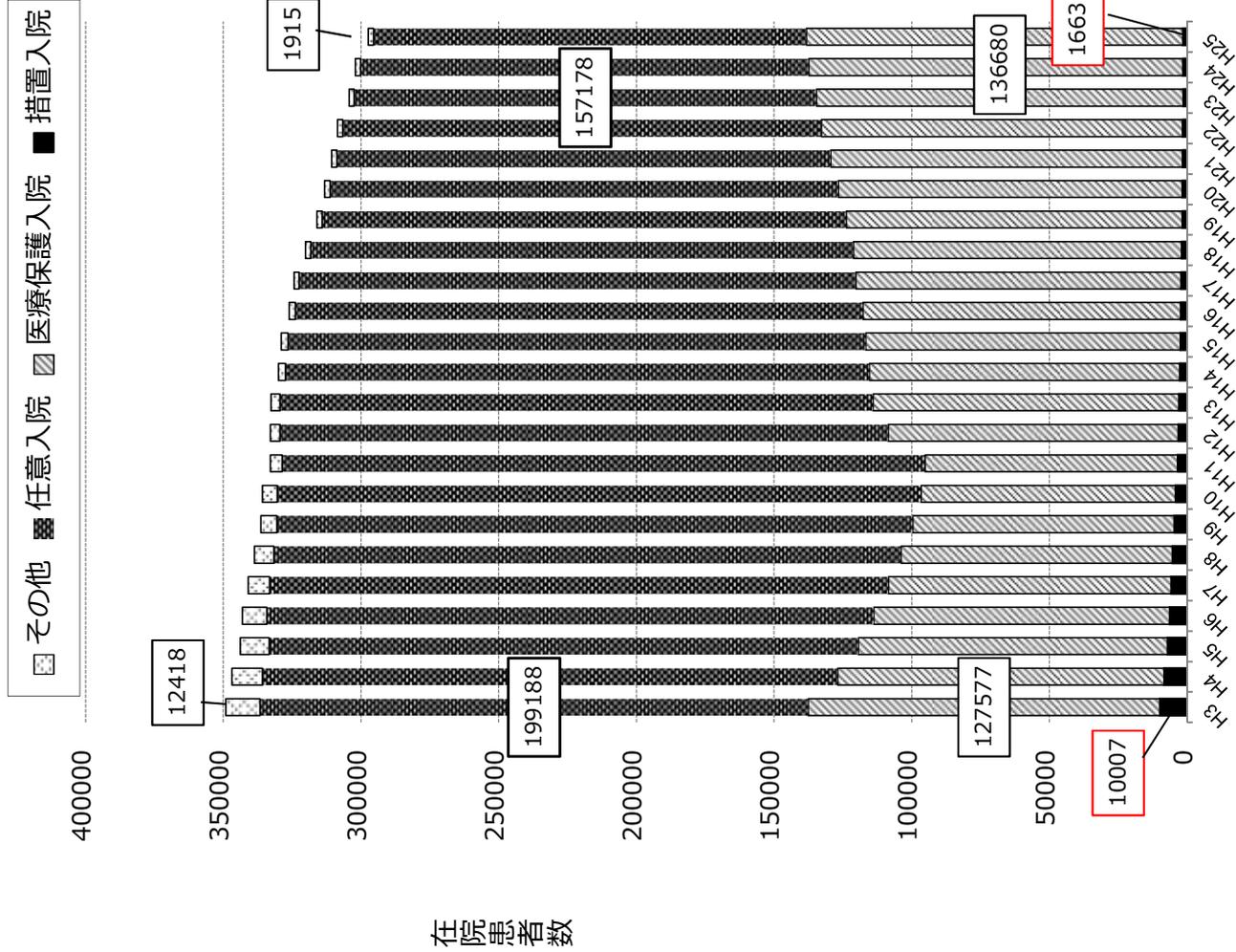
参考データ

措置入院の届出数の推移



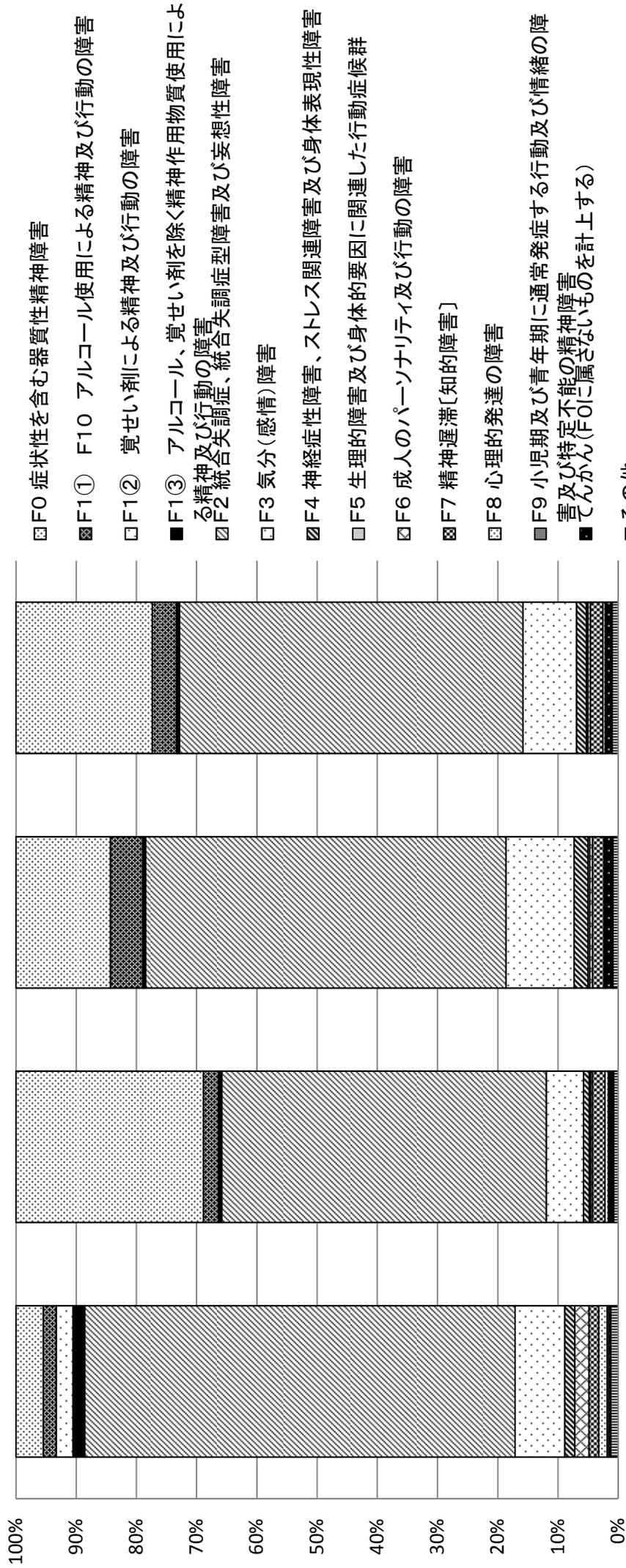
資料：厚生労働省「厚生行政報告例」より
厚生労働省保健福祉部で作成

入院形態別在院患者数の推移（平成3年度～平成25年度）



※平成11年精神保健福祉法改正において医療保護入院の要件を明確化（任意入院の状態にない旨を明記）

精神科病院在院患者の状況(入院形態×疾患名)



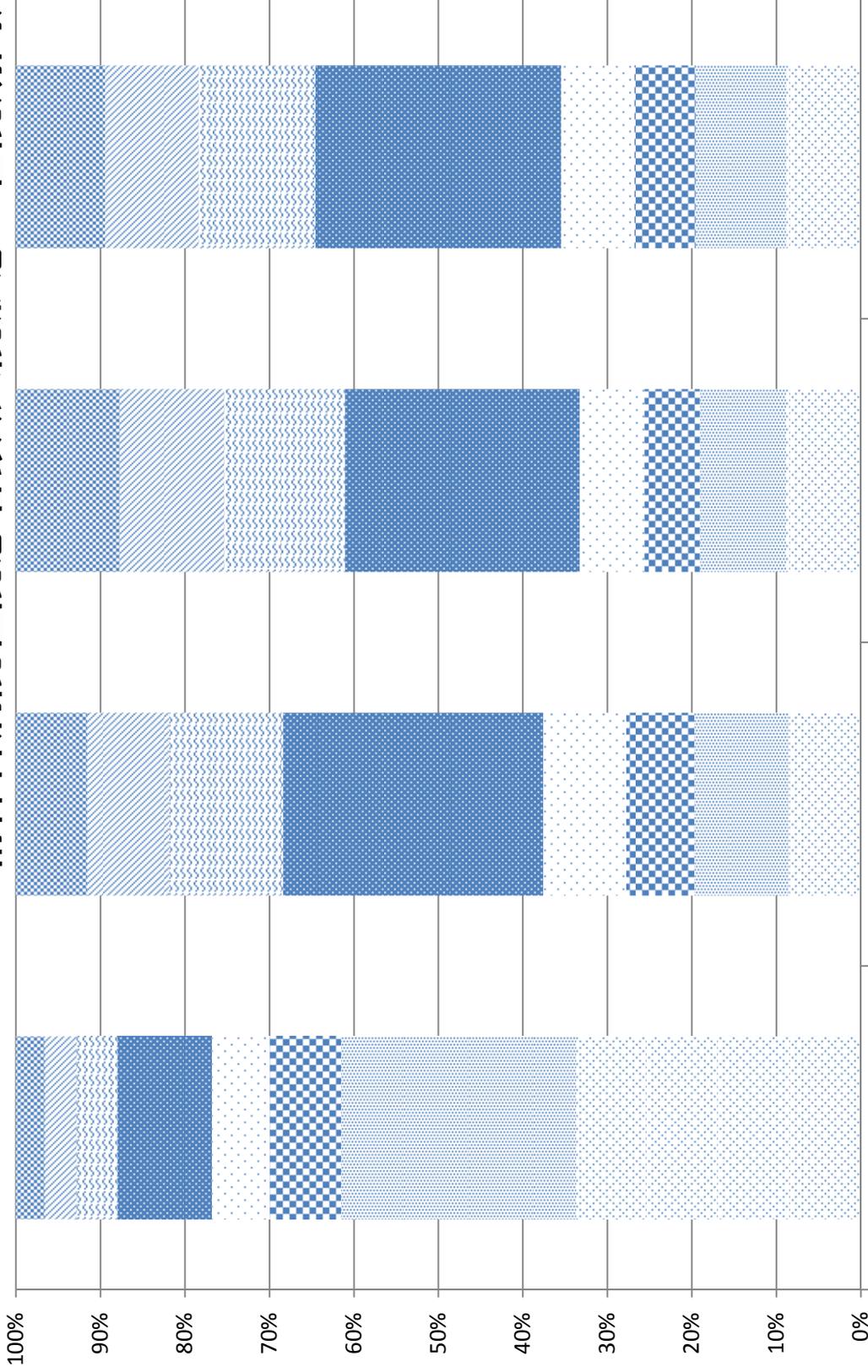
	措置入院	医療保護入院	任意入院	合計
FO	75	42,531	24,624	67,271
F1①	36	3,432	8,391	11,877
F1②	46	300	318	682
F1③	33	449	493	993
F2	1,188	73,619	94,030	169,511
F3	137	8,474	17,820	26,482
F4	28	1,272	3,606	4,921
F5	0	316	464	788
F6	39	429	701	1,181
F7	27	2,869	2,965	6,104
F8	23	739	403	1,191
F9	5	286	221	535
てんかん	6	951	1,762	2,927
その他	20	1,013	1,380	2,973
合計	1,663	136,680	157,178	297,436
	4.5%	31.1%	15.7%	22.6%
	2.2%	2.5%	5.3%	4.0%
	2.8%	0.2%	0.2%	0.2%
	2.0%	0.3%	0.3%	0.3%
	71.4%	53.9%	59.8%	57.0%
	8.2%	6.2%	11.3%	8.9%
	1.7%	0.9%	2.3%	1.7%
	0.0%	0.2%	0.3%	0.3%
	2.3%	0.3%	0.4%	0.4%
	1.6%	2.1%	1.9%	2.1%
	1.4%	0.5%	0.3%	0.4%
	0.3%	0.2%	0.1%	0.2%
	0.4%	0.7%	1.1%	1.0%
	1.2%	0.7%	0.9%	1.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【注1】平成25年6月30日時点での入院形態ごとに、当該入院形態での在院期間を集計したものに、入院途中で入院形態が変更された場合には、変更後の在院期間で集計。

【注2】「合計」は、措置入院、医療保護入院及び任意入院の3形態及びその他の入院の患者数を在院期間ごとに合計したものの。

精神科病院在院患者数(入院形態×在院期間)

- 20年以上
- ▨ 10年～20年
- ▩ 5年～10年
- 1年～5年
- ▨ 6ヶ月～1年
- ▩ 3ヶ月～6ヶ月
- ▨ 1ヶ月～3ヶ月
- ▩ 1ヶ月未満

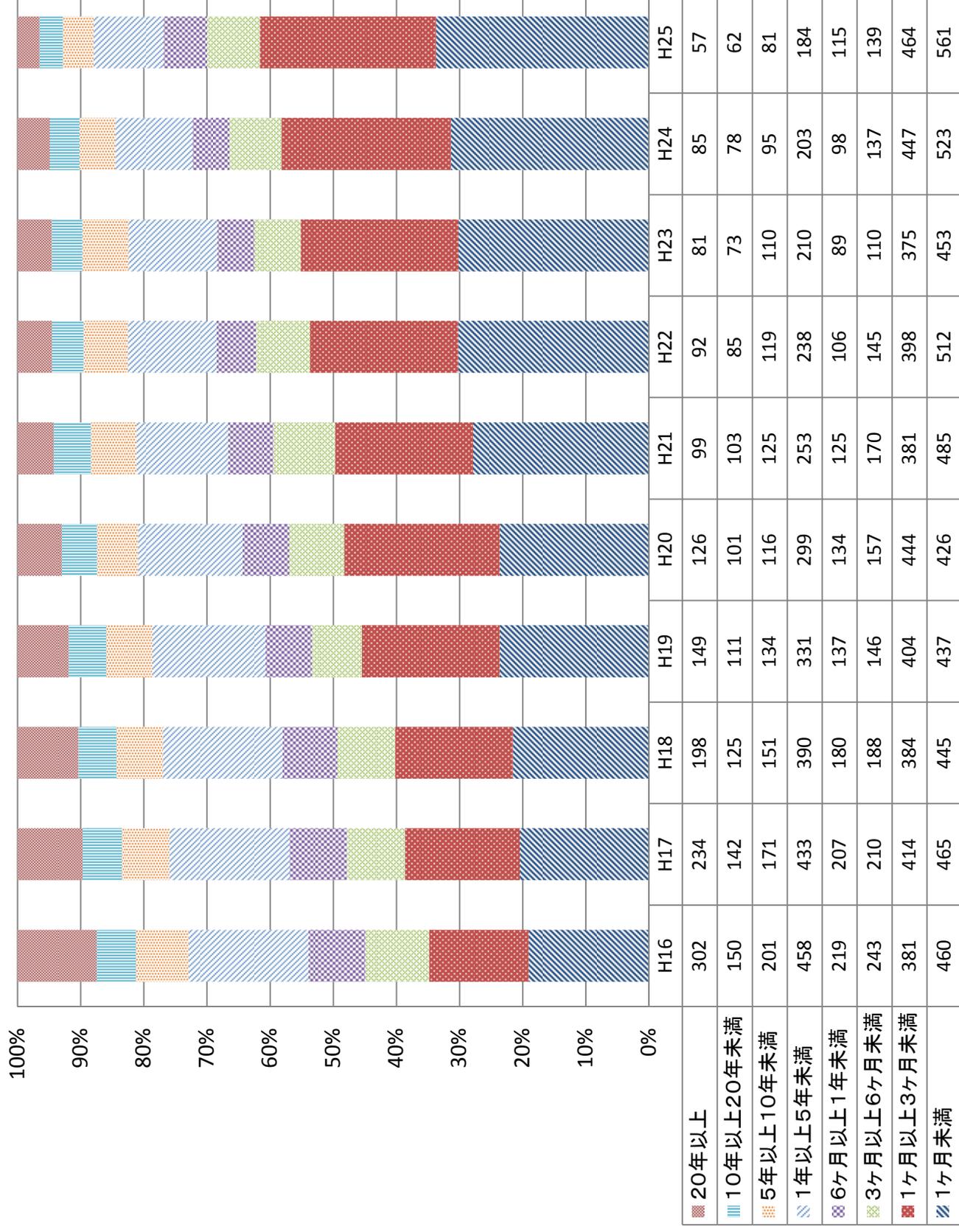


入院形態	20年以上	10年～20年	5年～10年	1年～5年	6ヶ月～1年	3ヶ月～6ヶ月	1ヶ月～3ヶ月	1ヶ月未満	合計
措置入院	57	62	81	184	115	139	464	561	1,663
医療保護入院	11,550	13,176	18,465	42,091	13,423	11,051	15,250	11,674	136,680
任意入院	19,315	19,391	22,477	43,674	12,033	10,324	16,023	13,941	157,178
合計	31,414	32,858	41,167	86,442	25,747	21,616	31,889	26,303	297,436
	3.4%	3.7%	4.9%	11.1%	6.9%	8.4%	27.9%	33.7%	100.0%

【注1】平成25年6月30日時点での入院形態ごとに、当該入院形態での在院期間を集計したもの。入院途中で入院形態が変更された場合には、変更後の在院期間で集計。

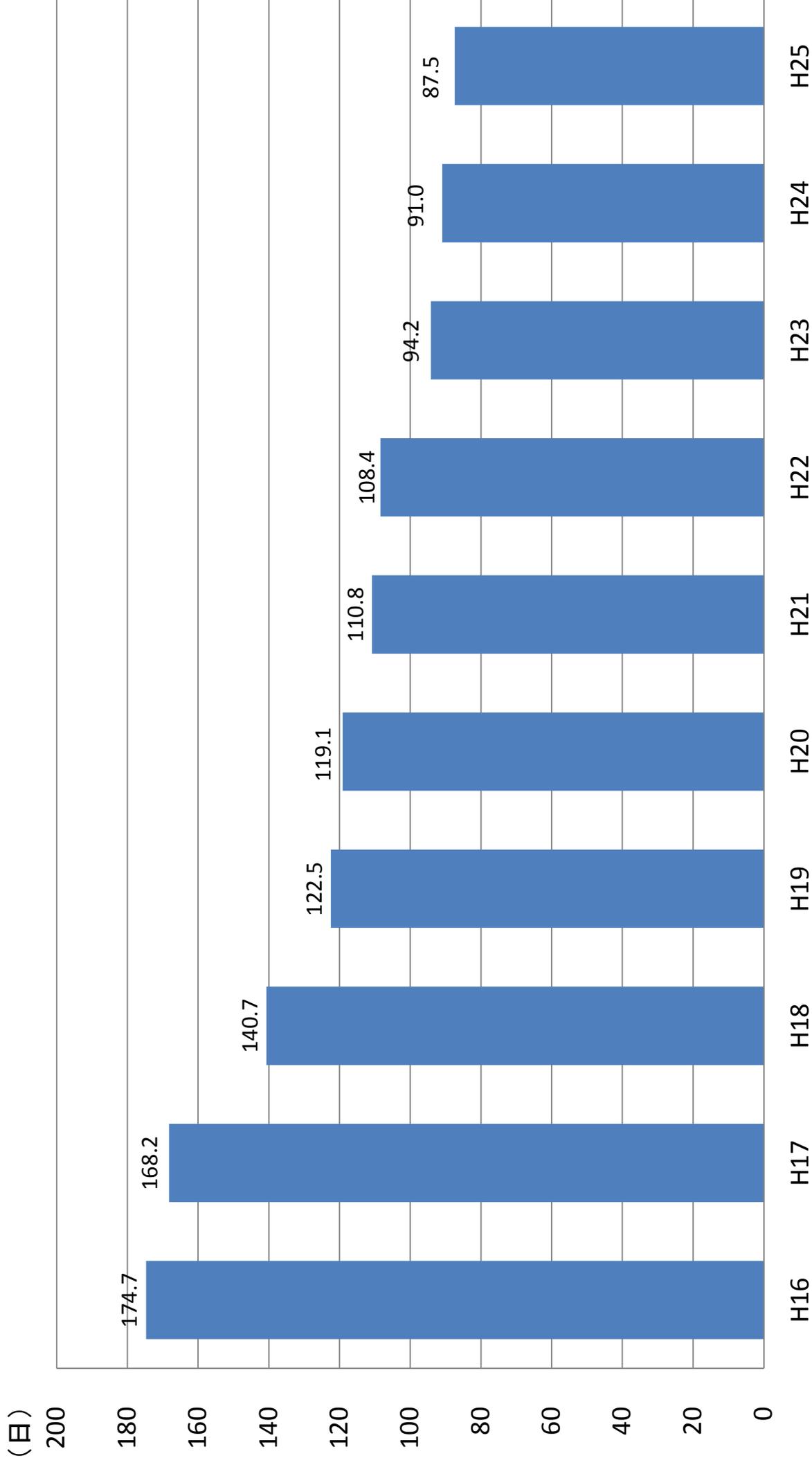
【注2】「合計」は、措置入院、医療保護入院及び任意入院の3形態の患者数を在院期間ごとに合計したもの。

精神科病院在院患者数(入院形態×在院期間)の推移 (措置入院:平成16年度～平成25年度)



【注】毎年6月30日時点での入院形態ごとに、当該入院形態での在院期間を集計したもの。入院途中で入院形態が変更された場合には、変更後の在院期間で集計。

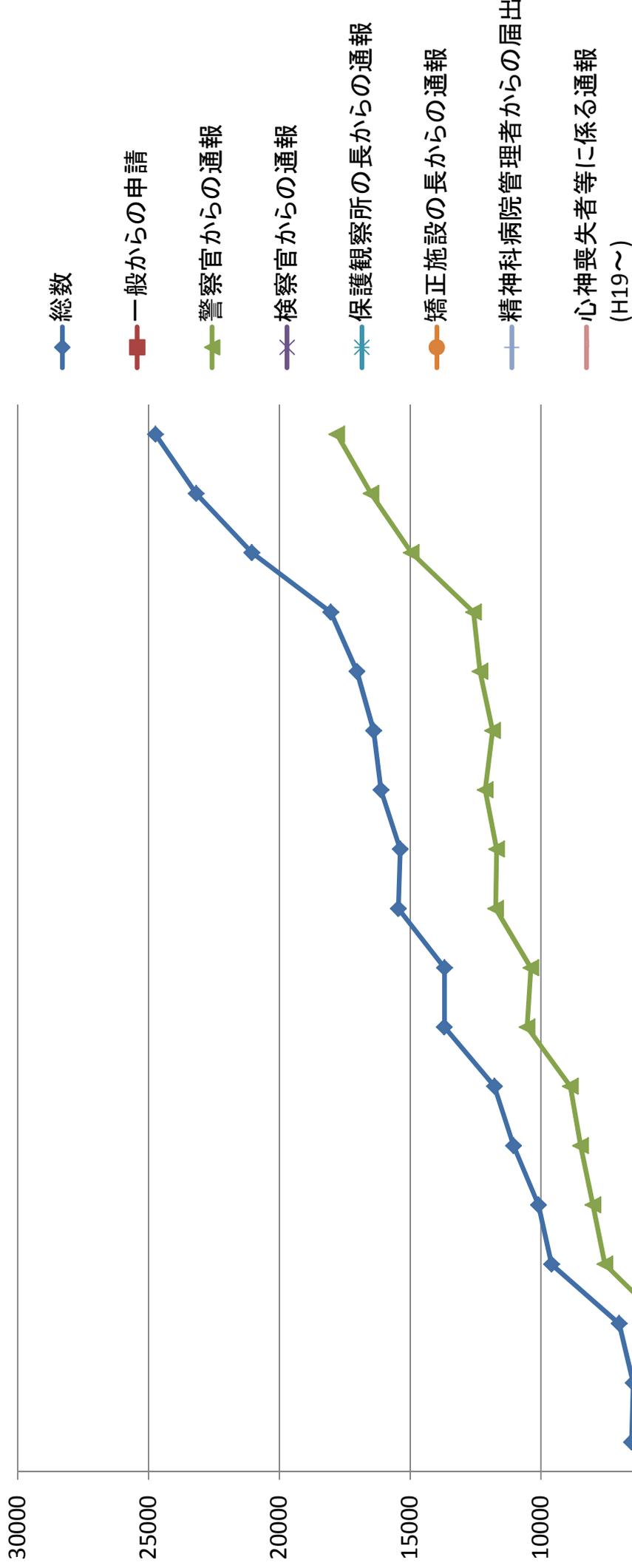
措置入院患者の平均在院日数
(措置入院:平成16年度～平成25年度)



【注】(毎年6月30日時点での在院措置入院患者数×365日)を措置入院届出数で割った数であるため、実際の数字と異なる可能性がある。
ある。

申請・通報・届出件数の推移(平成9年度～平成26年度)

○ 精神保健福祉法(第22条から第26条の3)に基づく申請・通報・届出の総数は増加しており、特に警察官からの通報件数の増加が顕著である。

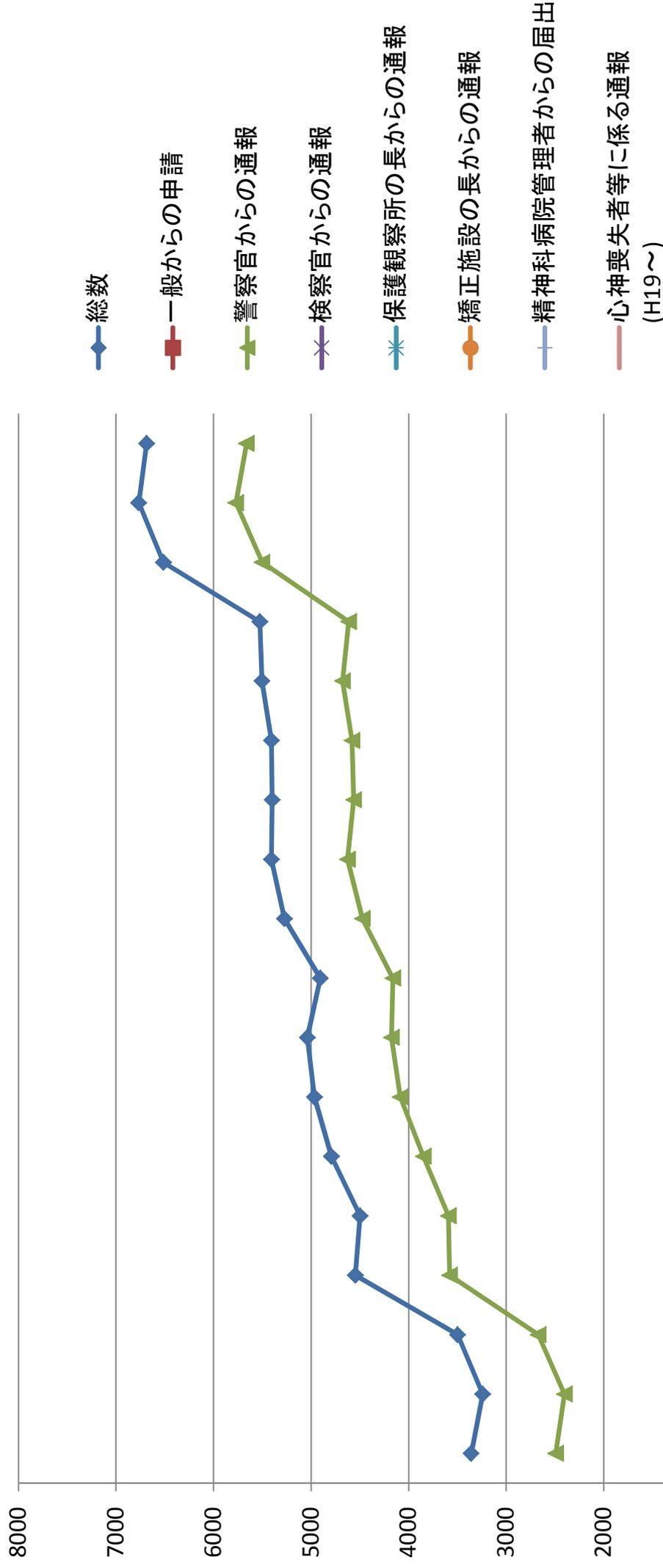


【注】平成22年のデータには東日本大震災の影響により、宮城県のうち仙台市以外の市町村が含まれていない。

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」より
厚生労働省保健福祉部で作成

申請・通報・届出別 措置入院患者数の推移（平成9年度～平成26年度）

○ 措置入院患者数は、中長期的には増加傾向であり、特に、平成12年及び平成24年における増加が顕著である。このうち、警察官からの通報を契機とした措置入院が全体の8割以上を占める。



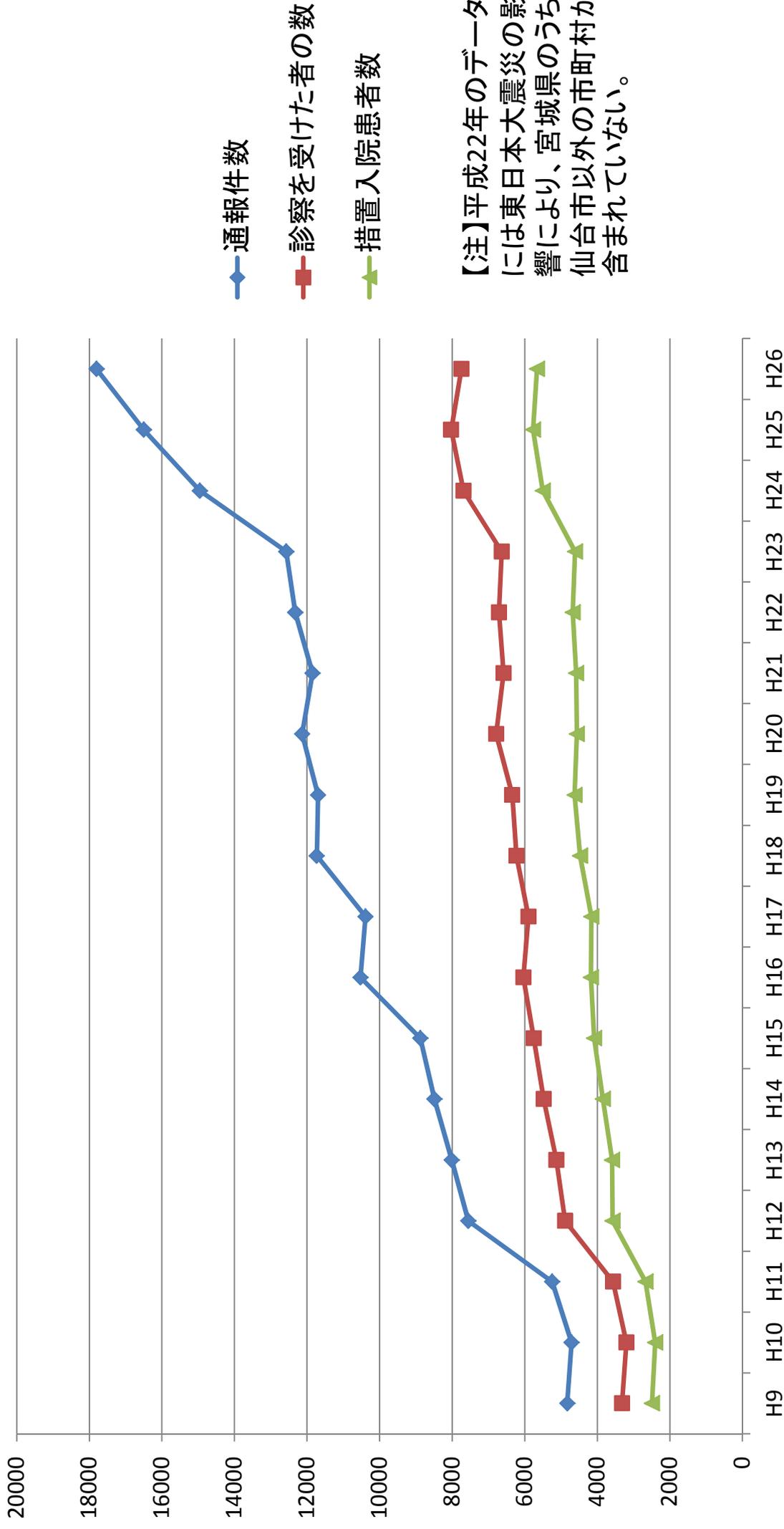
【注】平成22年のデータには東日本大震災の影響により、宮城県のうち仙台市以外の市町村が含まれていない。

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」より
厚生労働省保健福祉部で作成

警察官からの通報件数及び措置入院患者数（平成9年度～平成26年度）

○ 警察官からの通報件数は増加傾向にあり、近年さらに増加している。

○ 警察官からの通報を契機とした精神保健指定医による診察数、その後の措置入院患者数のいずれも中長期的には増加傾向にある。また、自治体による事前調査において精神保健指定医による診察の必要がないと判断した件数も増加している。

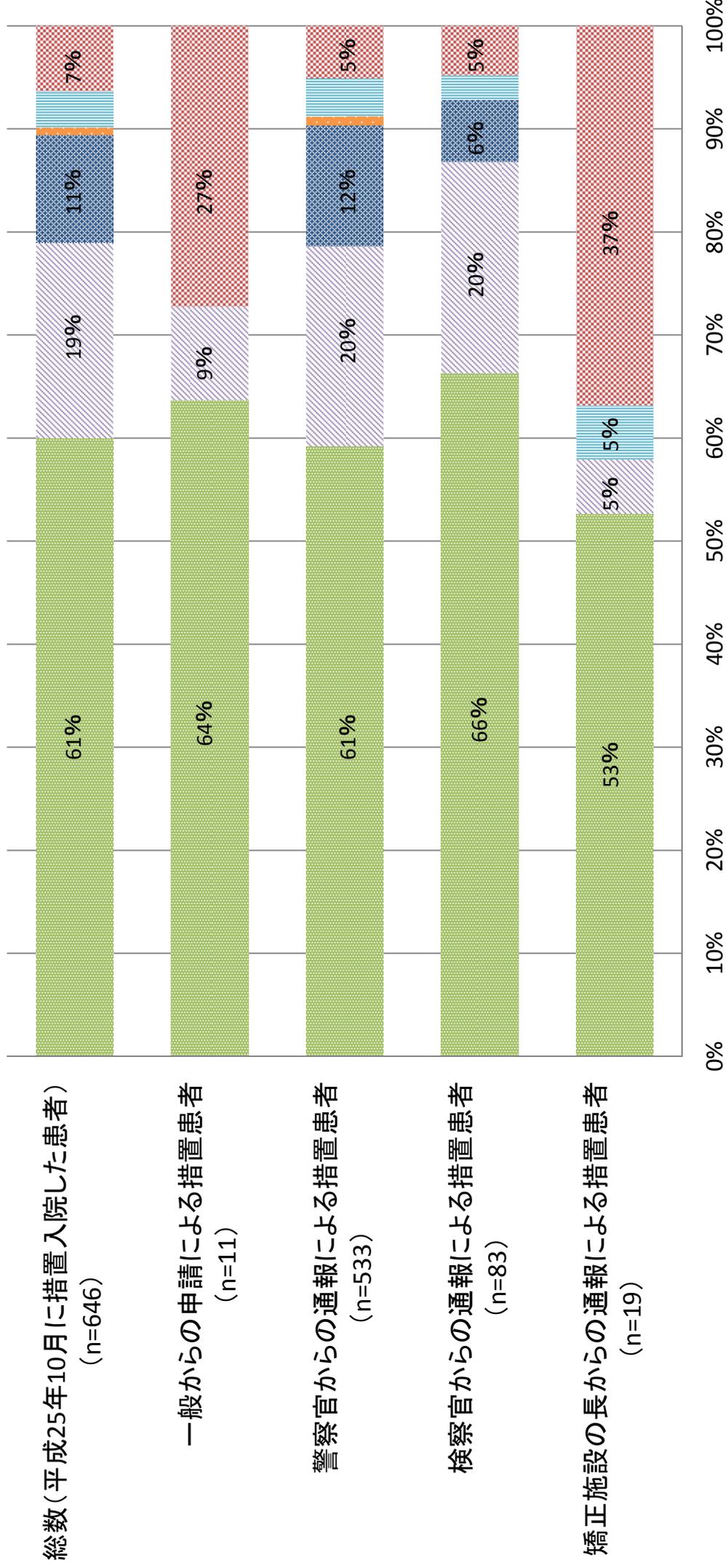


【注】平成22年のデータには東日本大震災の影響により、宮城県のうち仙台市以外の市町村が含まれていない。

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」より
厚生労働省障害保健福祉部で作成

平成25年10月に措置入院した患者の転帰（申請・通報別）

- 平成25年10月に措置入院した患者のうち、9割以上は措置入院後1年以内に症状消退届が提出されている。
- 症状消退届提出時の転帰状況として、最も多いのは入院継続（医療保護入院、任意入院、他科）、次いで通院医療であった。



■ 入院継続 ■ 通院医療 ■ 転 ■ 死亡 ■ その他 ■ 措置入院継続（※）

（※）「措置入院継続」は、平成25年10月に措置入院した患者数から、当該患者のうち平成26年10月1日までに症状消退届が提出された患者数を差し引いたものである。

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」より
厚生労働省障害保健福祉部で作成